

Palnote 連絡用紙

商品に関することやご意見・ご要望などをこの用紙でお寄せください！
(太枠内のご記入をお願いします)

お名前		組合員番号	
電話番号		センター名	
コース名	用紙提出日	年 月 日	回答 要 ・ 不要
記入欄			
			 こちらからも お問い合わせできます
商品についてのご連絡は、以下にご記入ください。		(パルシステム記入欄)	
配達日 カタログ企画回	年 月 日 (月 回)	受付	リーダー/担当者
商品名 青果は産地名も		電算	責任者
商品分類	青果 / 冷蔵 / 冷凍 / ドライ / 雑貨 / その他()		
注文番号	単価(税込)	数量	

キリトリ ✂

パルシステム千葉
コミュニティ活動助成基金
2023年度交付団体 vol.13

【事業名】難聴者の聞こえを支援する「出前・聞こえのサポート」普及推進事業
野田市中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」

難聴は認知症やうつ等の重大リスク コミュニケーションをあきらめないで！

耳が不自由なためにコミュニケーションがうまくいかず、何となく寂しく、物足りない毎日を過ごしている方はおられますか？「みみづくの会」では、難聴者や中途失聴者が月2回集まって、それぞれの方法でおしゃべりを楽しんでいます。簡単な日常会話であれば、補聴器を使って残存聴力を活用しながら、ゆっくりとした口の動きから話し言葉を伝え合う「口話(こうわ)」を中心に、筆談や手話で補うなどしています。さらに、会話の内容をスクリーンに映し出す「要約筆記」や難聴者用スピーカー、補聴器や人工内耳に音声クリアに届ける「ヒアリングループ」など、さまざまな補聴援助機器を活用して打合せや意見交換をしたり、難聴者用の「耳・聞こえの予防体操」「えだまめ体操」など、パソコンとプロジェクターを利用して気分転換したりと、参加者が楽しめる工夫をしています。



コロナ感染予防対策のために自粛生活を余儀なくされていましたが、何とか打開策を見出したいと思い心機一転。加齢難聴者が参加される会議や集会の場に補聴援助機器を持ち込んで難聴者をサポートする「出前・聞こえのサポート」をはじめました。耳が聞こえにくくなると家族とのだんらんの場にも入れず、人と会うのが億劫になりがちです。近所に、知り合いに、地域社会に孤独な思いをしている方を一人でも減らせればと思います。ぜひご相談ください。 ▲記事全文



パルシステムは第1回「ジャパンSDGsアワード」を受賞しました



Palnote 2024年 5月5回 vol.120 2024.5.13発行 発行 生活協同組合パルシステム千葉 船橋広報部 〒273-0005 千葉県船橋市本町2-1-1 船橋スクエア214F TEL 047-420-2605 FAX 047-420-2400

パルノート
Palnote

2024年
5月5回
2024.5.13発行
vol.120

生活協同組合パルシステム千葉 <https://www.palsystem-chiba.coop>

SNSの時代ですが

大学時代の友人と年賀状、誕生日カード、クリスマスカードのやりとりを今年50歳になるまでずっと続けています。手書きのカードは体温を感じます。相手を思いながら記念切手を買う楽しみもあります。

イラスト 広報サポーター Junkoさん



(しいさん/浦安市)

口は災いの元

全部自分に返ってくるので、内緒で聞いたことは言わない、悪口も言わない。言いたくないことは、言ってくれのを待つ!

(たこたこさん/木更津市)

人づきあいのコツ

家族、友人、ご近所さん、仕事仲間などと話すときは「何を話すかは知性」「何を話さないかは品性」「どう話すかは人間性」だと思って話しています。

(オイちゃんさん/南房総市)

高校時代の友人たちと

半世紀以上のつきあいになりますが、会うと高校生気分ですごく話で盛り上がりします。私にとってストレス発散・元気の素になっています。

(まちばあばさん/我孫子市)

みんなの **おしゃべりCafe**

minna no osyaberi cafe

「そうだよね! わかる」と思わず共感しちゃうことから「へ〜、知らなかった!」という楽しい発見もいっぱい!!

今号のテーマ **「人づきあい」**

募集中のテーマ

「お祭りの思い出」

コロナ自粛がひと段落し、この夏は花火やお祭りを楽しみにしている方も多いのでは? あなたのお祭りにまつわる思い出やエピソードをお寄せください。

投稿者には **300ポイント** プレゼント!

投稿をお待ちしています!

▼応募はこちら! [5/19(日)〆切]



笑顔であいさつ

あまりお話をしたことの無いご近所さんでも、すれ違うたびに感じのよい笑顔の方はとても好印象。笑顔であいさつしても減るものではないし、自分も爽やかな笑顔であいさつができていくか再確認したいものです。



イラスト 広報サポーター KUONさん

(ふらねこさん/習志野市)

負の話はほどほどに

気をつけているのは相手の話をしっかり聞くこと。家族自慢や病気が多くて疲れるときも「いろいろ大変ね」と聞き、自分も負の話をしなないようにと気づかされます。

(dumboさん/市原市)

物々交換のある風景

老親の世話のため地元に移居しました。近所を歩くと親の代からの知り合いが、自分の家で採れた野菜をくれたり、そのお返しにいただき物のお菓子をお裾分けしたり。都会にはあまりない、懐かしいおつきあいをしています。

(ふじちゃんさん/館山市)